

浜松市路面下空洞対策等ガイドライン

別冊

令和2年3月

浜松市土木部

目次

1. 路面下空洞対策記録様式（様式 A ～ G）	1
2. 道路陥没対応記録様式（様式 1 ～ 3）	9

1. 路面下空洞対策記録様式
(様式 A ～ G)

路面下空洞対策 記録表（調査準備）

基本情報									
調査番号						路線の分類		A	
道路種別		路線名					緊急輸送路指定		
調査箇所					管理事務所				

調査準備											
起点	所在地					終点	所在地				
	位置情報	緯度	度	分	秒		位置情報	緯度	度	分	秒
		経度	度	分	秒			経度	度	分	秒
交通状況	交通量(平日)		台/日			調査実施者					
	大型車交通量		台/日			調査手法					
位置図						道路台帳図・河川台帳図					
											

現況写真	
撮影年月日	

※調査番号: 調査対象路線の路線番号(ブロック番号・番号)を記載する(←「-」から左6桁)

路線の起点側から順番に調査区間番号を3桁で記載する(←「-」から右3桁)

※位置図: 国土地理院地図(地理院地図(インターネット))から作成する

※道路台帳図・河川台帳図: 浜松市道路台帳図(浜松市地図情報サイト(インターネット)) から作成する

※緯度・経度: 浜松市道路台帳図から取得する

※起点・終点の入力方法: 横断暗渠の場合…構造物の中央を起点・終点に入力する

※起点・終点の入力方法: 河川施設背面の調査延長が長い場合…起点・終点のそれぞれに入力する

※交通量: 最新の交通量センサス等から入力する(不明の場合は不明と記載)

路面下空洞対策 記録表（目視調査）

基本情報											
調査番号						路線の分類		A			
道路種別			路線名					緊急輸送路指定			
調査箇所					管理事務所						

目視調査											
調査年月日						調査実施者					
実施可・不可						調査結果(全体)		-			
施設の損傷	所見						土砂流出・堆積	所見			
状況写真							状況写真				
路面の変状	所見						その他	所見			
状況写真							状況写真				

※異常がない場合は所見・写真不要

路面下空洞対策 記録表（車両型レーダー探査）

基本情報									
調査番号						路線の分類		A	
道路種別			路線名					緊急輸送路指定	
調査箇所					管理事務所				

車両型レーダー探査						
調査年月日				調査実施者		
調査実施延長	m	目視調査実施不可	-	空洞可能性の有無		



※「空洞の可能性あり」の箇所に「○」印及び位置番号①（半角・大文字アルファベットA～Z）を記載する

路面下空洞対策 記録表（ハンディ型レーダー探査位置図）

基本情報									
調査番号						路線の分類		A	
道路種別			路線名					緊急輸送路指定	
調査箇所					管理事務所				

ハンディ型レーダー探査							
調査年月日				調査実施者			
位置図							
位置番号①	B	調査延長	m	位置番号①		調査延長	m
							
位置番号①		調査延長	m	位置番号①		調査延長	m

※位置番号①：様式Dの「空洞の可能性あり」箇所の位置番号①と整合をとる

※ハンディ型レーダー探査調査実施箇所を「青色」で着色する

※「空洞の可能性あり」の箇所に「○」印又及び位置番号②（半角・数字 1～）を記載する

路面下空洞対策 記録表（ハンディ型レーダー探査・スコープ調査）

基本情報															
調査番号								-			路線の分類			A	
道路種別			路線名								緊急輸送路指定				
調査箇所										管理事務所					

ハンディ型レーダー探査・スコープ調査 (●/●)												
位置 番号 ②	ハンディ型レーダー探査結果					スコープ調査結果					所見	
	調査年月日		/ /			調査年月日						
	調査実施者					調査実施者						
	広がり (m)	発生深度 (m)		面積 (m2)	道路陥没 危険度	広がり (m)	発生深度 (m)	厚さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)		空洞発生 原因の推定
1												
	位置情報	緯度	度	分	秒							
		経度	度	分	秒							
2												
	位置情報	緯度	度	分	秒							
		経度	度	分	秒							
3												
	位置情報	緯度	度	分	秒							
		経度	度	分	秒							
4												
	位置情報	緯度	度	分	秒							
		経度	度	分	秒							
5												
	位置情報	緯度	度	分	秒							
		経度	度	分	秒							
6												
	位置情報	緯度	度	分	秒							
		経度	度	分	秒							
7												
	位置情報	緯度	度	分	秒							
		経度	度	分	秒							

※位置番号②: 様式Eの「空洞の可能性あり」箇所の位置番号②と整合をとる

※位置情報: 「空洞の可能性あり」箇所の中心における緯度・経度を記載する

※危険度判定

道路陥没危険度Ⅰ: 深度 $0.5\text{m} < h$ (空洞発生の深度) → スコープ調査を実施し、空洞の有無を確認する道路陥没危険度Ⅱ: 深度 $0.5\text{m} \geq h$ (空洞発生の深度) → 道路陥没が発生する危険性が高いため、緊急に対応する

※道路陥没危険度Ⅱが判明した場合、直ちに担当監督員へ連絡すること

路面下空洞対策 記録表（措置）

基本情報												
調査番号											路線の分類	A
道路種別		路線名									緊急輸送路指定	
調査箇所										管理事務所		

措置 (●/●)						
位置 番号 ②	道路陥没 危険度	空洞発生原因	措置完了年月日	措置実施者	実施内容	経過観察の 必要性
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						

※路面下空洞の発生原因が不明な場合、又は小規模な空洞で施設の破損等がない場合は、原則「経過観察:必要」とする

※「経過観察:必要」な箇所については、年に1回以上、5年間は経過観察することとする

2. 道路陥没対応記録様式 (様式 1 ～ 3)

道路陥没対応一覧表(2020年度)

【様式1】

[illegible]

※路線分類「A」で道路陥没の発生原因が不明な場合は原則経過観察を必要とする。
※経過観察が必要な箇所については、措置完了後から5年間経過観察を実施する。(頻度:年1回以上実施)

道路陥没対応記録表

路線の分類					調査番号				-		
道路種別		路線名				管理事務所					
位置情報	所在地	浜松市	DID地区		緯度	度	分	秒			
					経度	度	分	秒			

道路位置		緊急輸送路指定	
交通状況	交通量(平日)	台/日	大型車交通量
			台/日

位置図	道路台帳
	

現況写真			
措置前	撮影日	措置後	撮影日

※作成対象:浜松市が管理する道路(車道部・歩道部全て)

※道路陥没が発生した場合に「道路陥没発生状況一覧(様式1)」へ情報を入力する。(発生原因が占用施設であっても作成)

※道路陥没発生状況一覧(様式1)格納場所

【土木部ファイル共有サーバー】→【0000_共有一時データ】→【20_道路保全課】→【04_保全グループ】→【◆道路陥没記録◆】
→【01_道路陥没発生状況一覧】

※併せて「本記録表(様式2・3)」を作成し格納する。(発生原因が占用施設であっても作成)

※調査番号:道路陥没発生状況一覧(様式1)から調査番号を取得する。(様式1-A~C列)

※位置情報(緯度経度):道路陥没中心の値を入力する。(浜松市土木情報管理システム(GIS)から取得)

※交通量:最新の交通量センサス等から入力(不明の場合は不明と記載)

※道路陥没記録表(様式2・3)ファイル名:調査番号_区名_路線分類_路線名 (例:2017-001_北_A_(一)横尾根洗線)

※道路陥没記録表(様式2・3)格納場所 (エクセルデータにて格納)

【土木部ファイル共有サーバー】→【0000_共有一時データ】→【20_道路保全課】→【04_保全グループ】→【◆道路陥没記録◆】
→【02_道路陥没記録表格納】→【道路陥没発生年度フォルダ】

